



開校21年目

新座小だより 3月号

〒352-0006 埼玉県新座市新座3-4-1
TEL 048-478-2760 FAX 048-482-6791
<http://www.c-niiza.ed.jp/e-niiza>

令和7年3月3日
児童数：289名
校長 浜田祐加

校庭の花壇には水仙の花が咲き、町や花屋の店先では桃の花や早咲きの桜が見られるようになりました。春の訪れを感じる季節の到来です。

この時期、学校は学習のまとめ時期に入ります。教室では、各教科の最後の単元の学習やこれまで習ったことの復習を進めています。6年生を送る会や卒業式練習など、卒業に向けての活動も目白押しです。

本年度も残り1か月になりました。保護者の皆様にはこれまでのご支援に心より感謝申し上げます。子ども達が胸を張って新たなステージに進むことができるよう、引き続きサポートして参りたいと思います。残り少ない今年度ですが、一緒に見守り支えていただければ幸いです。



◆◇◆ 卒業・進級の意味 ◆◇◆

令和6年度もあと1か月となりました。この一年、お子様の成長ぶりはいかがだったでしょうか。身長等体の成長は目に見える成長だけではなく、人とのかかわりやあいさつ、我慢する心など数値では表されない面での成長も多くあるのではないのでしょうか。



卒業・進級を迎えるこの時期は、子どもたちにとっては大人になったり、お兄さんお姉さんとしての自覚が芽生えたりする良い時期でもあります。先日、新しい通学班の班長を集めて安全主任中心に話をしましたが、話をうなずきながら聞いていて、班長・副班長として頑張ろうという意気込みを感じました。

個々の能力は、一律ではありません。学校での学習以外の優れた能力を持つ児童もたくさんいます。そうした多様な能力を引き出し、つなぎ、伸ばすことが教育だと考えています。

私が本校に赴任してから3年が経過します。この間、本校の子どもたちは目を見張る成長を遂げています。「自ら抱いた課題を仲間と解決し、異学年や地域に発表する」といった学習スタイルに変えたことで、「学ぶこと」や「新たな知識を得ること」への意欲の高まりが感じられるようになりました。

また、タブレットを活用し、自分が学んだことをより相手に分かりやすく発表しようと、レイアウトや音楽をつけるなどアイデアを出し合い、意見の食い違いやぶつかり合いも起こる中、折り合いをつけ前に進むといったことも学んでいます。指示待ちの児童が多かった3年前を思うと、自ら考え行動できるようになりつつあり、成長したなと感慨深く思います。

取り組んだことを自信につなげるためには、多くの大人が認めて言語化して伝えることが大切になります。そして、子ども達だけでは気付かなかった知識面や技能面からのアドバイスをすることが、学ぶことへの意欲につながっていきます。

卒業や進級という時期は、草木がこの時期大きく育つように、子どもたちも大きく伸びる時期でもあります。新しい学年を迎えるこの時期だからこそ、子ども達が新たな環境で「頑張ろう！」と思えるような、声をかけ、働きかけていただきたいと思います。

